

議会報告会 記録(概要) 報告書(観光産業班)

開催日時	令和 4年 11月 28日 (月) 午後 2時00分 ~ 3時30分			
開催場所	委員会室			
班 員	齋藤文明(班長)	亀井崇幸(副班長)	三好國章	川村寿利
	斎藤伸幸	村上正明	嶋田正法	川島憲朗
参加者団体・人数	日光商工会議所 各部部长 3名			
意見交換テーマ	日光商工会議所の各分会活動内容と今後の展望について			
	意見・課題など		会議の中で出た解決方法など	
①人手不足 ・社員の高齢化 ・業者数の減少 ・下請業者数の減少 ・労力確保が厳しい ・実習生確保の問題 ・人材育成			<ul style="list-style-type: none"> ・高校生スカウト ・大手企業の誘致 ・土地を安価に提供して人口増 ・ブランドを活かして安定的な人材確保 	
②コロナの影響 ・商工会議所活動の減少 ・コミュニケーションの不足 ・集まりが少ない ・部会員参加の減少			<ul style="list-style-type: none"> ・DXやオンラインの活用 	
③仕事量の減少 ・工事量の減少			<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業の見直し 	
④原材料の高騰 ・米価格の低下 ・材料費の値上げ ・光熱費の値上げ ・入札不調 ・工事単価が合わない			<ul style="list-style-type: none"> ・国策でのコメ買取価格の上昇 ・運賃の見直し ・国からの助成 ・積算価格の見直し 	
⑤サービスの低下 ・冬季対策 ・少人数旅行の対応 ・寒さ対策 ・宿泊者に対する二次会の送迎対策			<ul style="list-style-type: none"> ・商品力の強化 ・ニーズを捉えた広報 	
⑥諸経費の問題 ・カード手数料の問題			<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体での手数料対策 ・国策への要請 	
⑦集客力の低下 ・ツアーの減少 ・魅力度ランキングの低迷			<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な情報発信 ・県全体でのアピール 	
<p>【班としての総括・今後の方向性】</p> <p>商工会議所には建設・工業・商業・観光・サービス・飲食の6つの部会有るが、今回は3部会の部部长による意見交換となった。各部部长が意見を出しやすいように二班に分かれグループワーク形式にて行い、活発な意見を抽出することができた。地域を取り巻く課題はそれぞれであったが、特に人材不足については、各分会において深刻な状況で、業者数・下請業者数の減少や、社員の高齢化、人材育成などの課題に対しての解決策として、日光のブランド力を活かし、土地を安価に提供することによって大手企業を誘致する、市内の高校に外向き就職の斡旋を依頼し、高校生にも興味をもってもらうなど様々な意見が出されたが、直接的な解決策には至らなかった。また、コロナの影響により、商工会議所の活動の減少などによるコミュニケーション不足の問題に対する解決策については、DXやオンラインを活用し、コミュニケーションを高め活動を補っていくという意見が出された。また、集客力の低下については、ツアーの減少や魅力度ランキングの低迷が問題となっており、その解決策としては効率的な情報発信をし、県全体でアピールしていくことが必要という意見が出された。今回の課題に対する解決策については、経済の低迷や雇用問題など、全国規模の問題と同様の意見が多く出された。市独自での対応では難しいような国や県での対応を切望する問題も多く見られ、今後は市が率先して国や県に働きかけていかなければならないと感じた。</p> <p>日光の商工業は観光地という特性のため、今後更に農工商連携を深めながら地域ブランディングを確立していかなければならず、官民一体となって地域経済を支えていけるような議論を継続して委員会の運営を行っていきたい。</p>				

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和4年12月16日

班長 齋藤 文明